

令和7年度 丹波篠山市議会 政務活動報告

===会派無所属：野々村 康===

政務活動の主旨

地域の活動現場に飛び込み、地域の実情・課題を肌を感じ、行政ニーズを把握する中で、政策立案や政策提言活動を展開します。

今年のテーマは、

- ① 丹波篠山黒豆栽培の高温対策【令和6年度からの継続取組み】
- ② 丹波篠山市の環境対策
- ③ 丹波篠山市の防災と福祉
- ④ 地域住民活動への参加と協働、そして今後の展開
- ⑤ 研修

【令和6年度からの継続取組み】

① 丹波篠山黒豆栽培の高温 対策について

【調査・研究】

令和6年度の記録的不作の原因究明と対策について。

【考察】

高温、小雨等の気象要因が原因であるが、対策等の的確な情報提供が必要である。

令和6年度 城南地区

黒豆作柄に関する緊急アンケート結果報告書

令和6年12月実施

野々村 康

令和6年度 城南地区黒豆作柄に関する緊急アンケート 結果表

整理番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
自治会名										
調査日										
農会長										
聞き取り者氏名	同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上	同上	
1 黒豆の栽培有無	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
2 枝豆作柄割合	5割	4割	8割	4割	1～2割	1～2割	3～4割	3割	2割	1割
3 R6枝豆作柄特徴	花が咲いたが成長がなかった。		人が咲いたが成長がなかったと聞いた(農会長)。	葉が下部にしか付かない状況が見られた。葉だけが成長し実が付かない成長しない状況が見られた。		花はよく咲いたが、水を入れたら花が落ちた。この地区は夕立が無く、夕立があった地域はよくできたという。	解禁日では枝豆がべっちゃんだった。	山際の畑の作柄が良く、日当たりのいい畑の作柄が良かった。	葉は多くついていたが萎れなかった。	黒豆を多く栽培されている農家が2軒あるが、1軒は1割残り一軒は全滅であった
4 黒豆作柄割合	4割	3割	4割	3割	1～2割	1～2割	3～4割	3割	2割	1割
5 R6黒豆作柄特徴	きれいな豆がなかった。大きな豆ほどカスレが多かった。	完熟が少なく、豆が小ぶりである。		大きな粒が少なく、肌ずれが多かった。また、3粒入りが少ない、1粒が多かった。また、完熟せず乾燥が遅れた。成長自体が1週間から1か月遅れと思われる。	葉が下部と上部にしか付かず、中間部に無かった。	豆がべっちゃんこで太らなかつた。一つの畑でも畝等により作柄の差が出た。	豆が小さい。	山際の畑の作柄が良く、日当たりのいい畑の作柄が良かった。	葉は多くついていたが最後になってもスカスカなものが多かった。	全滅の農家では刈り取り、焼却処分されていた。このような出来事は初めてであった。
6 自治会内の暑さ対策	ため池の最下流流域のため水の確保に苦労した。夜中に水当てをした。	ため池の放水を行ったが量が足りなかった。末端まで届かなかった。	作柄がよい畑においては8月のかきりに散布した液肥の効果が高かったと思われる。	特になし。	雨の不足を主に水不足が発生した。谷間溜水を行ったが、その時間やタイミングが悪い場合もあった。	去年の枝豆はまあまあだったが今年はずっと水不足だった。工夫の仕方が無い。	特になし。ただし、例年ぬかるんでいる畑や日当たりの悪い畑の出来がよかつた。	特になし。	基本的には個人対応であるが、ため池の有効活用を図り、夏場水やりを3回行った。日当たりの悪い畑の作柄が良かった。	特になし。個人対応。
7 来年の対策	水確保のルール化を目指したい。上空からの散水を検討したい。	ため池と水の有効活用を徹底したい。	集荷が管理しているため池の貯水量が限られることから、他の水系の連携を高めたい。	特になし。	谷間溜水だけでなく、上空からの散水も検討したい。	黒豆栽培とささえさせてはいけない。農協の営農指導を活用したい。	山際等、日当たりの悪い畑での耕作を検討している。	追肥時期の調整。山際畑での耕作。		今後、研究したい。
8 来年の自治会内作付け予想	現状維持	面積を減らす傾向	現状維持	現状維持	面積を減らす傾向	面積を減らす傾向	現状維持	現状維持	面積を減らす傾向	現状維持
9 農業共済認知度	よく知っている	よく知っている	よく知っている	詳しく知らない	よく知っている	よく知っている	よく知っている	よく知っている	よく知っている	よく知っている
10 共済情報の必要性	不用	不用	不用	必要	不用	不用	必要	不用	不用	不用
11 丹波篠山市への要望	不作対策の情報提供。枝豆解禁日が早すぎるのではないかと、お客さんが来るが実が入っていない。	不作対策の情報提供。枝豆解禁日が早すぎるので、このまままたとお客さんが逃げる。	各種の情報発信。	作柄が悪い理由を分析してほしい。	凶作・重作は天候次第。自然には勝てない。農会長の意見	色々な情報が届いているので、正確な情報がほしい。	色々な情報がほしい。	特になし。	丹波篠山黒豆を運ぶためには、販売者を対象とした「経費所得安定対策等交付金」だけでなく、主に販売を前提としない零細農家にも、肥料代金相当程度の幾分かの支援を行う単独事業も検討してほしい。	
12 農協組合員の有無	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
13 JAへの希望	営農指導。特に作付け時期の指導がほしい。	兵庫黒6号の作付け効果と兵庫黒3号(既存種)の混在が起きているのか心配がある。	11月から12月にかけて、生育が例年に比べて2～3週間遅かった原因と対策を教えてください。	作柄が悪い理由を分析し、対策を検討し、営農指導を行ってほしい。	営農指導は天候を踏める方とその時々に適した方法で行ってほしい。黒豆には関係ないが、米の苗の出来が悪く、蒔いた時には伸びていない。原因は苗土にあると思う。	暑さや近年の天候不順に対して、よく効く薬品情報がほしい。	畝間灌水等水やりのタイミングを教えてください。	特になし。	JAIによる講演会を実施したが、暑さ対策等がまとめられていないのか核心をつくお話をいただけなかったことが残念だった。気候変動等に対する最終のノウハウを承りたい。	
14 その他の意見	枝豆解禁が早すぎて実入りができておらず、消費者からクレームを受けた。	今年のように米値が上がれば黒豆作付けから転換する農家が増えると思う。			不作が2年続いていて、これは黒豆作付けから転換する農家が増えると思われる。	今年のように米値が上がれば黒豆作付けから転換する農家が増えると思う。		山際の畑では、夜間に冷気が侵入し黒豆を冷やすことで作柄向上に貢献したと思われる。	個人的には、1年間黒豆づくりをやめようと思っている。	



20250312 市議会で一般質問：黒豆の高温、水不足対策について
【対策と情報発信、零細黒豆農家支援などについて質問と提言】

「有機栽培」事例を紹介 惜しげもなく情報提供 水稲と黒大豆・枝豆

2025.04.30

丹波篠山市 地域 自然



事例集を手に活用を呼びかける中末さん（右）と土谷さん＝兵庫県丹波篠山市北新町で

兵庫県丹波篠山市や同市内の有機農業に取り組む農家、JAなどで作る「丹波篠山ワクワク農都づくり協議会」は、水稲や黒大豆、黒枝豆の「有機栽培実証・栽培事例集」を作成した。化学合成肥料や農薬、遺伝子組み換え技術を使用せず、環境への負荷をできるだけ減らした有機農業の裾野を広げるため、長年にわたって試行錯誤を繰り返してきた農家が「企業秘密」の情報を惜しげもなく提供した一冊。関係者は、「有機は同じ地域で実践している事例が一番参考になるため、丹波篠山でしかできない事例集。有機をしたい人が増えるきっかけになれば」と期待している。

同市は2023年、有機農業を地域ぐるみで推進する「オーガニックビレッジ宣言」を行った。これを受け、協議会は2年かけて栽培実証を行ったり、栽培事例を取りまとめたりしてきた。



丹波篠山

有機栽培実証・栽培事例集

黒大豆・黒枝豆編



丹波篠山ワクワク農都づくり協議会

農業掲示板 9月

水稲 刈り取り適期・乾燥・籾すり・調製

- 品質低下を防ぐために早期落水を避け適期に刈り取りを行いましょう。
- 刈り取り適期**
 - 減収や品質低下を防ぐためにも適期刈り取りを行いましょう。刈り取り時期の目安としては、稈実もみの85%が黄化したこととなります。8月下旬～9月上旬頃に85%が黄化した場合3日以内、9月中下旬は7日以内に収穫しましょう。
 - 注)刈り取りが早すぎると青米や未成熟粒が多くなります。また、遅れると籾割粒・茶米などが増え、米粒の光沢も劣ります。
- 乾燥**
 - 急激な乾燥や過乾燥は籾割米の原因となるので注意しましょう。
 - 必ず張り込み量に準じた温度設定を行い、仕上げ水分は14.5%～15.0%にします。
- 籾すり・調製**
 - 乾燥機停止直後の籾すりは、籾の温度(穀温)が高く、肌ずれや籾割粒となる恐れがありますので、十分に放冷した後に籾すりを行いましょう。
- (コンバインによる刈り取り時の注意事項)**
 - 効率よく作業が行える時間帯は午前11時頃から午後3時頃となります。朝露が残っているときや雨天時に刈り取りを行うと飛散による収量減や籾の詰まり、機械の故障を招きやすくなるので注意しましょう。
 - 高水分の籾を長時間放置すると「ヤケ米(発酵による変色粒)」が発生します。刈り取り面積は乾燥機の容量に合わせた刈り取りを行いましょう。
 - 事故防止のため機械の調整や清掃は必ずエンジンを止めて行いましょう。

黒大豆・えだまめ 黒大豆・黒枝豆の病害虫防除、水管理、台風・大雨対策

- 病害虫防除**
 - 栽培こよみを基本に適期防除を行いましょう。
 - 黒大豆(実どり)と枝豆とは使用できる農薬が違う場合があります。使用前に必ず栽培こよみや農薬容器、袋のラベル等で確認しましょう。
 - 台風・大雨対策**
 - 台風や集中豪雨の場合、停滞水とならないよう排水対策に努めましょう。
 - 台風通過後はフェスティバルC水和剤で株元までしっかりと防除を行いましょう。
 - 水管理**
 - 開花期から莢伸長期にかけての干ばつは、着莢や莢の肥大に悪影響を及ぼすので、日照りが続くようであれば畝間灌水を行うなど土壌水分を適正に保つようにしましょう。灌水は谷が白く乾くまでに行い、気温の低い時間帯(日没後～早朝)に灌水を行います。日中の灌水は根腐病などの原因となるため避けましょう。
- | | 農薬名 | 希釈倍数 | 使用回数 | 使用時期 | 備考 |
|-----|--------------|-------|----------|-----------------|-----------------|
| 殺菌剤 | ★ランマンフロアブル | 1000倍 | 3回 | 収穫7日前 | 黒大豆の場合 |
| | レーバスフロアブル | 1500倍 | 3回 | 収穫3日前 | 枝豆の場合 |
| | ★フェスティバルC水和剤 | 600倍 | 3回 | 収穫7日前
収穫前日まで | 黒大豆の場合
枝豆の場合 |
| 殺虫剤 | トレボン乳剤 | 1000倍 | 2回 | 収穫14日前 | |
| | ★プレバソフロアブル5 | 4000倍 | 2回
3回 | 収穫7日前
収穫9日前 | 黒大豆の場合
枝豆の場合 |
| 殺虫剤 | ★グレーシア乳剤 | 2000倍 | 2回 | 収穫14日前
収穫前日 | 黒大豆の場合
枝豆の場合 |
| | アグロスリン乳剤 | 2000倍 | 3回 | 収穫7日前 | |
| | スタークル顆粒水溶剤 | 2000倍 | 2回 | 収穫7日前 | |

※★の農薬は黒大豆(実どり)と枝豆で使用時期が違うので注意しましょう。

農業掲示板 9月の農作業

土壌水分計を活用しましょう

● 山の芋設置場所 ● 黒大豆設置場所

黒大豆
7月下旬～10月末までは、花芽分化・開花・着莢・子実肥大期となり水分が必要となります。近所の土壌水分を参考にし、高温乾燥が続く場合は20%を下回る前に畝間灌水をしましょう。※20%は目安です。土質により異なる場合があるため、土壌を実際に確認し畝が白く乾く前に対応しましょう。

山の芋
7月下旬～9月下旬は、新芋形成・肥大期となるため、安定した土壌水分管理が重要です。土壌水分計を参考に、土壌の乾燥を避け、土壌水分の変化が大きくなりすぎないように灌水をしましょう。

水分センサーアプリのダウンロードはこちら
 (iPhoneの場合) (Androidの場合)
Field Watch2
 ログインID: 5562355
 パスワード: einoushidouka

お問い合わせは JA丹波ささやま 営農指導課 079-556-2355

丹波篠山茶 土づくり・施肥・病害虫防除

- 良質な一番茶を生産するため、病害虫被害のない葉を秋～冬に多く残すことが大切です。
- 特に茶樹更新を行った場合は、その後新たに萌芽してきた芽を大切に、樹勢の早期回復を図りましょう。
- 土づくり**
 - 秋～翌春まで肥料養分を吸収する新根を伸ばすため、土づくりを8月中・下旬に行います。酸度矯正のため、有機石灰セルクを10aあたり100kg施用し、あわせて牛ふん堆肥を10aあたり92,000kg(もしくはアヅミンを10aあたり40kg)施用し深耕します。
- 施肥**
 - 秋肥は春肥よりも効率的で収量にあたるウエイトの高い施肥となります。夏までの摘採で弱った樹勢を回復させる目的があり、10～11月の光合成が活発な時期に吸収利用されます。
 - 土づくりの後、9月中旬までに10aあたり油粕140～240kgと、茶有機配合40～60kgを施用し、土と混和しましょう。
- 病害虫防除**
 - 残暑が続くと害虫の多発が懸念されます。また、秋になり気温が下がると炭そ病や輪斑病がよく見られますので、栽培こよみに基づき防除をしましょう。

今後の 24時間OK / 農業技術テレホンサービス 電話: 079-556-3384

8月22日 ▶ 9月4日	9月5日 ▶ 9月18日
山の芋の防除と水田の土作り	玉ねぎ栽培のポイント

丹波篠山農産物相談・研究センター 開所日時: 月・火の週2日 9:00～12:00 (ただし祝日・年末年始を除く) 電話 079-556-3380



「ホスプラス」と「カルプラス」は、ともにOATアグリオ社製の葉面散布用液体肥料で、「ホスプラス」はリン酸とカリウムを主成分とし、植物の生育促進や耐病性向上を、「カルプラス」は有機キレートカルシウムを主成分とし、カルシウム欠乏による生理障害（尻腐れなど）の予防・改善を目的とした製品です。これらは農業や園芸で広く使われ、作物の状態に合わせて使い分けられます。

丹波篠山黒豆栽培研修会で紹介されたホスプラス（左）他にビーンズアップ(パワー)も使われている



1.5kg / 1株

丹波篠山黒枝豆



② 丹波篠山市の環境対策

【調査・研究】

身近に迫るクビアカツヤカミキリ調査と桜の剪定管理及び県道等の雑草対策。

サクラやモモの近くでこんな虫、木くずを見かけたら

通報お願いします！

黒い体に赤い首

うどんのような幼虫のフン

↓こんな大きさ
(体長2.5~4cm)

この虫は「クビアカツヤカミキリ」という[®]特定外来生物で、サクラやモモの樹を枯らします！！

兵庫県自然鳥獣共生課 078-362-3389

特定外来生物のうち、生態系などに被害を及ぼすものについて国が指定、飼育、栽培、保管、運搬、輸入等が、原則として禁止され、罰則の対象。

成虫写真提供：兵庫県環境科学センター



- ・クビアカツヤカミキリ調査結果調査地域では発見できませんでした。
- ・ただし、てんぐ巣病を多数発見したので剪定除去作業を有志で実施しました。



・チェーンソーによる作業。



・切断部分の養生作業。



・県道植栽部分以外の雑草繁茂
状況。

場合によっては、通行者の支障
となります。



・柏原土木事務所の了承を得て
雑草の撤去及び除草剤の散布。
1年間で3回実施、今後効果を
検証して参ります。

土木事務所では経費削減から
年1回の除草管理ですが、地域
からの要望にはもっと多くしてほし
い。住民パワーで、安全でまた最
小の経費で何ができるか研究を進
めます。

③ 丹波篠山市の防災と福祉

【調査・研究】

丹波篠山市の防災に対する市民意思やため池等の現状を把握するとともに、福祉現場の市民みなさんの声を聞き取りました。



令和7年7月6日 篠山東中学で開催されました「丹波篠山市雲部地区総合防災訓練」に防災士として参加しました。



段ボールベツト組立を参加者に要請したところ、すぐにみなさんの協力を得ることが出来ました。



・令段ボールベットの完成状況。



・参加された防災士のみなさん。今後。防砂士会とのさらなる連携の必要性を感じました。



右から2人目が、丹波篠山防災士会会長 岡田政光さんです。

・令和7年6月17日 老朽ため池の草刈、調査（主に兵庫県土地改良事務所）



- 草刈り後、堤体のパイピング状況が確認できました（詳細は県が判断）。



・受益者による除草作業。



スマイルラボお披露目会

縁日

私たち「スマイルポケット」の拠点ができました。
なまえは「スマイルラボ」です。
お披露目をかねてミニ縁日のイベントします。ぜひ遊びに来てね！

お菓子作り ボーリング ダーツ わなげ

だかし屋まーちゃん家くるよ♪
スタンプラリーもあるよ！挑戦してね！！

入場無料

2025年5月18日(日)

午前の部:10時～12時 (最終受付11:40)
午後の部:13時～16時 (最終受付15:40)

📍 丹波篠山市東岡屋64-40

車は芦森工業さんの駐車場に
停めてください。
わからない場合は
電話等でお問い合わせください

おねがい

- ★未就学児さんは必ず保護者同伴で
お願いします。
- ★路上駐車はしないでください。
- ★お家の中ではお菓子などを食べないでください。水分はOK！

NPO法人スマイルポケット
問合せ先：090-2065-7060 (中村)
もしくは公式LINEへメッセージどうぞ



令和7年5月18日
NPO法人スマイルポケット主催のスマイルラボ
お披露目会に参加し、みなさんのお声をお聞
きしました（偶然同席した向井副議長と桐
村議員さん）。



・陽だまりのような「スマイルラボ」。



・令和7年11月30日 丹波篠山市障害者総合支援センター「スマイルささやま」
で開催された「ふれあい感謝祭」に参加し、みなさんのお声をちょうだいしました。



④ 地域住民活動への参加と協働、そして今後の展開

【調査・研究】

コロナ禍後、地域住民のコミュニケーションが減衰し、地域力が減退しているとの見方がある中で、地域活動に参加する中で、現状を把握するとともに今後の展開を考察する。





・令和7年9月15日 マネジメントした「敬老のつどい」。対象者57人参加者22人（参加率39%）内3人が集合住宅居住者。市の補助対象は75歳以上。：経営、管理、組織運営。

寿

2025 年度 万歳敬老のつどい







・令和7年9月21日プロデュースし10年ぶりの開催となった地区「体育祭」。人口・高齢化率の差から自治会対抗の傾向は減り、単独種目競技やレクレーション運動会が主流になりつつある。

ただし、地域住民交流には効果大。体振を通じた補助金あり。：企画、制作、運営：グランドゴルフ、ぼっちゃ









・令和7年10月12日マネジメントした地区「秋祭り」。人員の確保。道路使用や保健所届など煩雑な事務処理。安全管理や歴史の継承など維持管理には高度な協働を必要とする。









・令和7年11月23日（一）アグリステーション丹波ささやま主催の「アグリフェスタ2025」子どもの居場所づくり、多世代交流及び学生支援の新たな形態。長期的な経営維持が課題。：日本財団助成：2023：60,190,000



ガレット調理



・令和7年11月23日 農都の基礎をささえる地区収穫祭への参加



山の芋の部
まちづくり協議会会長賞

山の芋の部
自治会長会長賞

山の芋の部
JA丹南支店会長賞



・令和7年11月23日 地区文化祭に参加。若年層から高齢者まで参加しやすいプログラムに工夫。





⑤ 研修

【調査・研究】

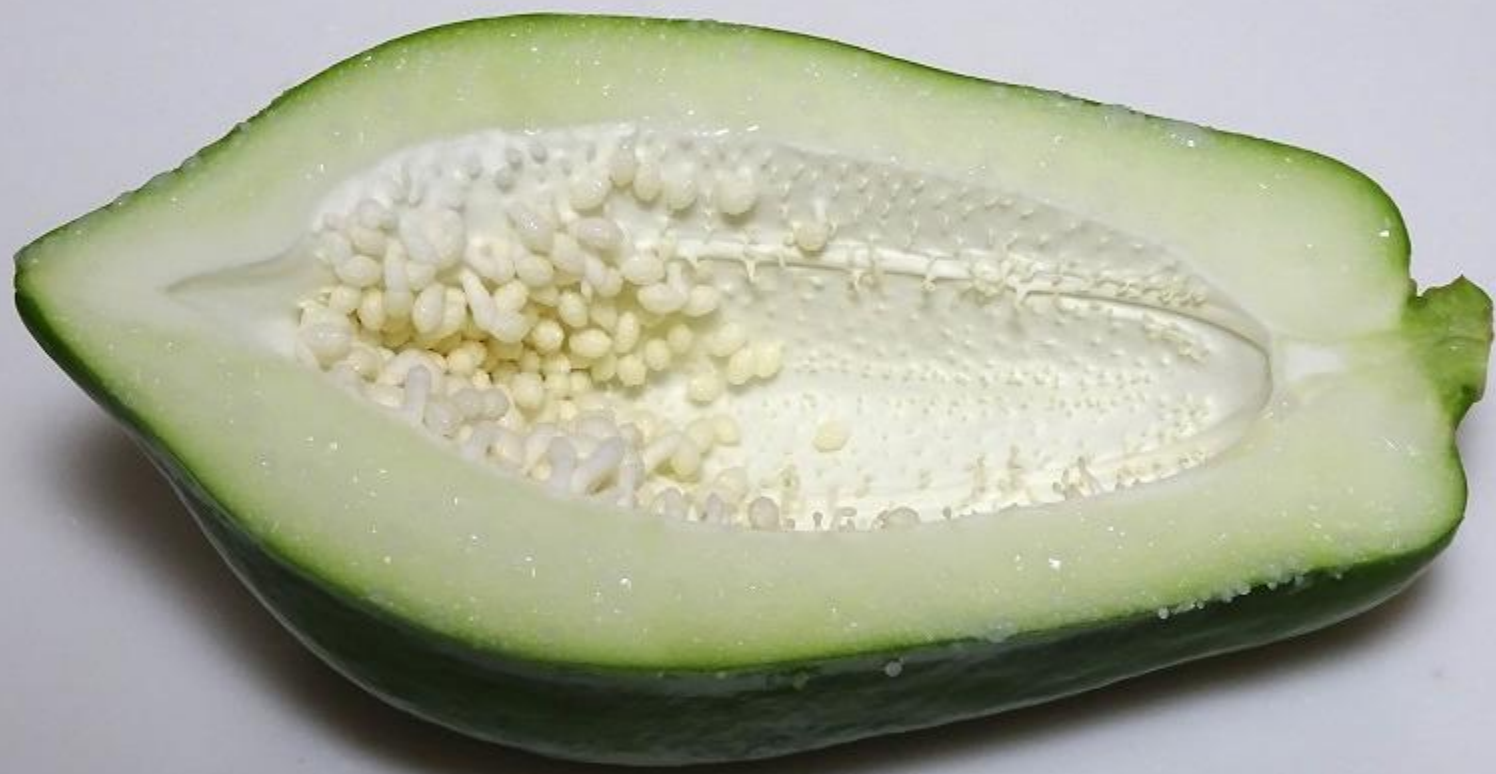
視野を広げるための研修。専門知識習得のための研修。





・令和7年11月13日 丹南地区自治会長主催の研修会に参加。対象は朝来市与布土地区。研修目的は「地域課題の解決と農村集落自立の取組み」地域おこし協力隊：スーパーフード







「よそ者、若者、馬鹿者」とは、地域活性化や組織のイノベーション（革新）に不可欠とされる3つのタイプの人材を指し、それぞれ「外部からの新鮮な視点を持つ人」「未来志向で行動力のある若者」「常識にとらわれず挑戦し続ける人」を意味します。これは、既存の枠組みにとらわれず、新しい発想や変化を生み出すために重要な存在とされています。





・令和7年5月31日 神戸市で開催された「2025ひょうご分権自治フォーラム」に参加。「阪神・淡路大震災 30年目の検証」、「カスハラ」及び「会計年度任用職員制度」などの専門知識の取得に努めました。

令和7年度 政務活動費の申請・交付状況

令和7年度12月末現在

政務活動費の申請・交付額 0円

(今年度は、現在まで丹波篠山市議会政務活動費の
交付申請は行っていません。
すべて、自費等となっています。)



ご清聴ありがとうございました。

===会派無所属：野々村 康===

※野々村農園黒豆の花